

2024年10月28日

【お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aくまがやは「農と地域生活の架け橋となります。」を基本理念として、農業を中心とした協同活動を通じて、地域の人々とともに健康で心豊かな暮らしと地域社会づくりの架け橋となるべく貢献してまいります。

この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

くまがや農業協同組合

I. 取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

・お客さま一人ひとりに寄り添って、ライフプラン・ニーズに合った資産形成・運用を実現するため幅広い金融商品を提供するとともに、利用者のニーズに合った商品提案をいたします。なお、当JAは金融商品の組成に携わっておりません。

・商品新規導入を行う際は、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインナップの見直しを行っております。なお、昨年度は一部商品の繰り上げ償還や新NISA開始に伴い、商品の入れ替えを行いました。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：8)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	1 1 (前年度末：1 1)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

1. 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること
2. 過去の運用実績が相対的に良好であること
3. 過去の運用成績の再現性が認められること
4. 手数料が良好な水準であること
5. これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

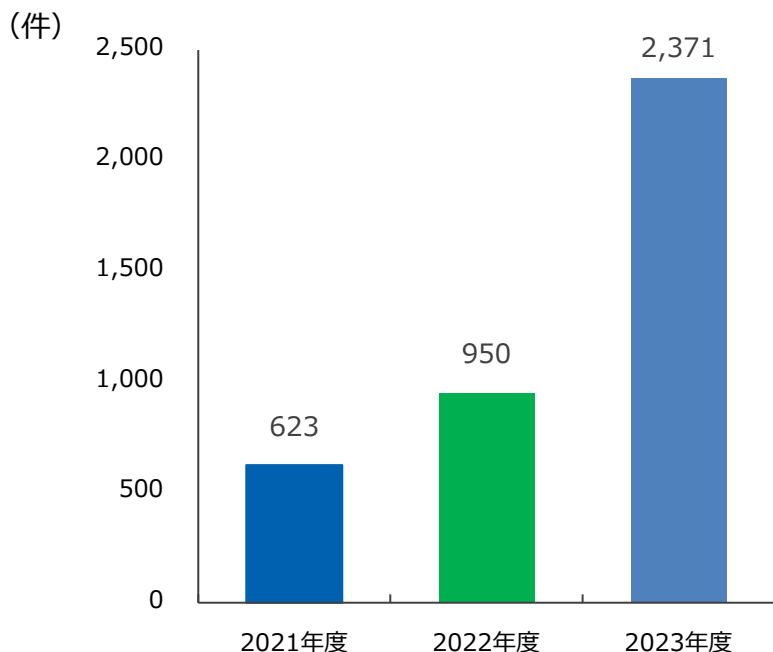
専門家の協力を得たうえで、セレクトファンドが組合員利用者の皆さまにご提供する最適な投資信託であるかを継続的に確認し、必要があれば、より良い投資信託と入れ替えることも考えております。

I.取組状況

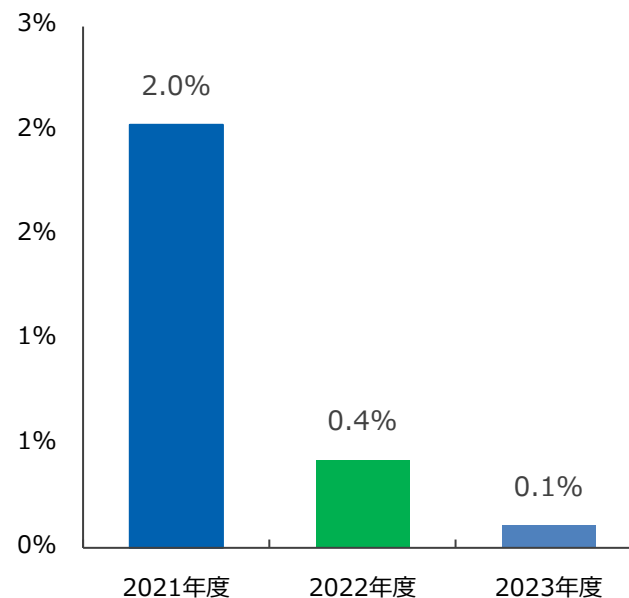
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

・お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせてお客様にふさわしい商品をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加したこと、新NISA開始に伴い、セレクトファンドに「毎月分配型ファンド」の取り扱いを行っていないことから「毎月分配型ファンド」選択されるお客様の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

・ご提案させていただく金融商品について、各商品の販売資料を用いて具体的に説明するほか、JAバンク独自資料「セレクトファンドマップ」「資産運用ガイダンス」を活用して、お客様の状況に応じて、商品・サービスのリスク特性や手数料も含めた必要な情報を、しっかり対話しながら十分にご理解いただけるまで分かりやすくご説明しております。

・農林中金が提供する資産形成サポートプログラムを導入し、渉外担当者を専門知識を有したライフプランコンサルタント（LPC）に任命し、窓口担当者とともに、資産形成・資産運用に関するJA内での勉強会を積極的に実施しております。

・ご提案させていただく各商品のリスク特性や手数料等の重要な事項について、わかりやすい表現で、ご理解・ご納得いただけるよう、お客様の立場に立った丁寧な説明を行い、最適な商品・サービスを適切にお選びいただいております。

・お客様にご負担いただく手数料や報酬については、想定される具体的な数字を提示し、丁寧にわかりやすく説明するとともに、ほかの商品とも比較いただき、適切にご検討・ご判断いただける情報の提供を行います。また当JAのホームページに「JAセレクトファンドマップ」を掲載し、商品間の比較が容易にできるよう一覧表で表示しております。また、より分かりやすく説明できるよう資料を充実させ、お客様の意向に添った商品が複数ある場合は、運用実績や手数料の比較を丁寧に説明し、検討できるような情報提供を行っております。

I. 取組状況

3 利益相反の適切な管理【原則3本文および(注)】

・ご意向に反して、高い手数料を得られる金融商品を不当に提案・販売する等により、利益を害することがないように、お客さまとの利益が相反する可能性を正確に把握し、適切に管理・検証する態勢を整備し、コンプライアンス意識向上・法令遵守に取り組んでおります。なお、当JAは、金融商品の組成に携わっておりません。

・「JAバンクセレクトファンド」を採用しており、お客さまの立場に立った商品ラインアップに努め、特定の運用会社に偏った商品のご提供はいたしません。また、金融商品の販売・推奨等において手数料等の高い商品のみを推奨する等、利益相反が生じやすい場合において、重要情報シート等の活用により、利益相反が生じる可能性等を具体的に説明しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

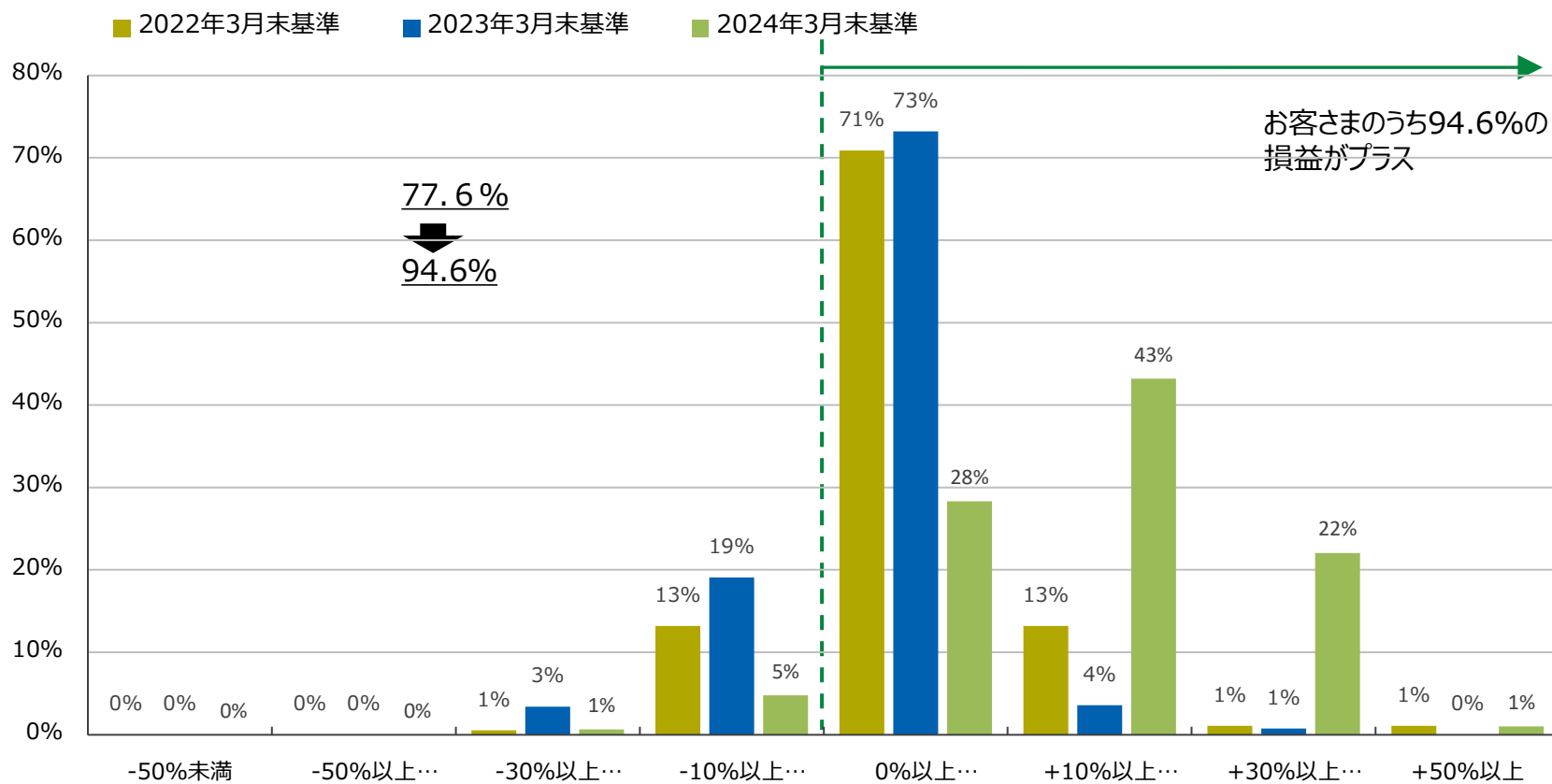
・資産形成・資産運用に精通した担当者を幅広く育てるため、全職員に証券外務員1種・2種、内部管理責任者の資格取得を促し、外務員・内部管理責任者・営業責任者業務の研修システムを利用したeラーニング受講や、農林中金が提供する資産形成サポートプログラムを導入するとともに、専門性向上を目的とした外部講師を招いた研修会を定期的を開催しながら専門性を有した人材の育成を図り、全ての担当者の継続育成を実施しております。

・お客さまと対話をし、資産の「つかう・ためる・ふやす・そなえる」といったお金の色分けを一緒に考え、お客さまの金融リテラシーの向上に取り組んでおります。また、お客さまへの提案を行う担当者や、その適正性（法令遵守・適合性）の判断を担う管理者に対し、定期的な研修会や信連によりコンプライアンス向上運動を実施し、お客さま本位の業務運営に沿った人材を育成するとともに、職員自身の資産形成を積極的に進め、金融リテラシーの向上を図ることで、お客さまの満足を第一に考えられるよう実践しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率

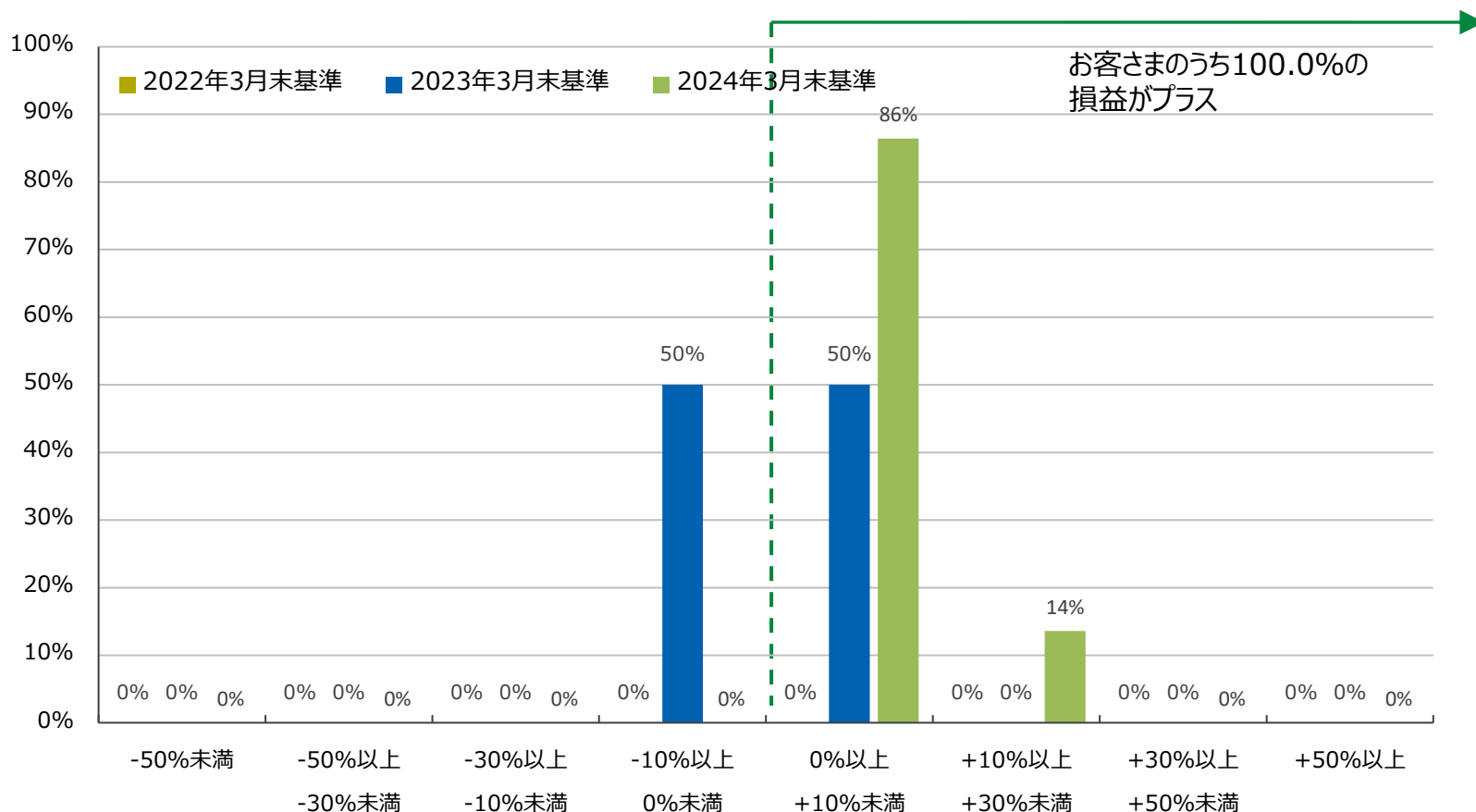
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の94.6%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）の「運用損益別顧客比率」は、2024年3月末時点で全体の100.0%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、お客さまの目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



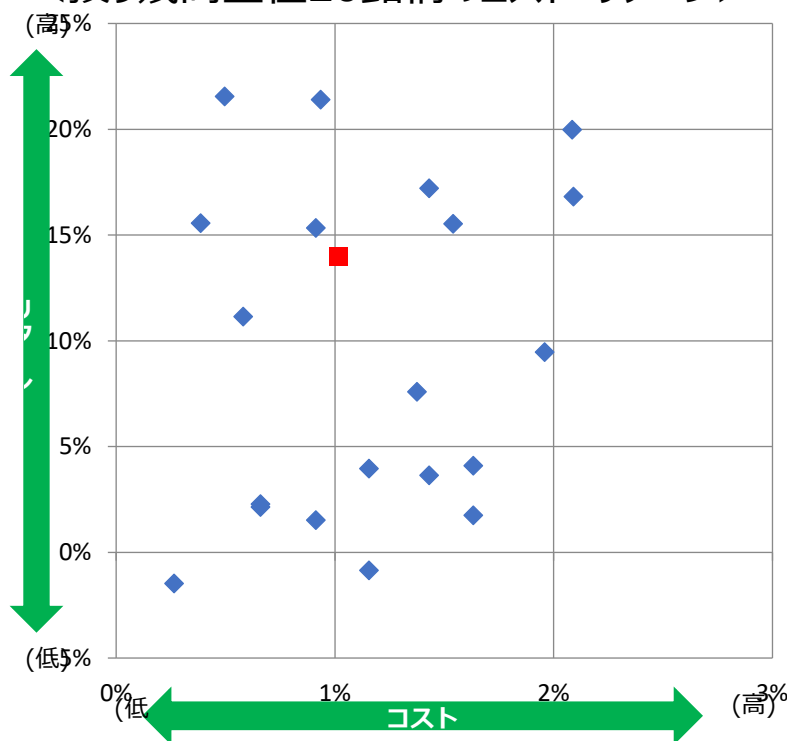
※2022年度取扱開始のため2022年度実績はございません

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

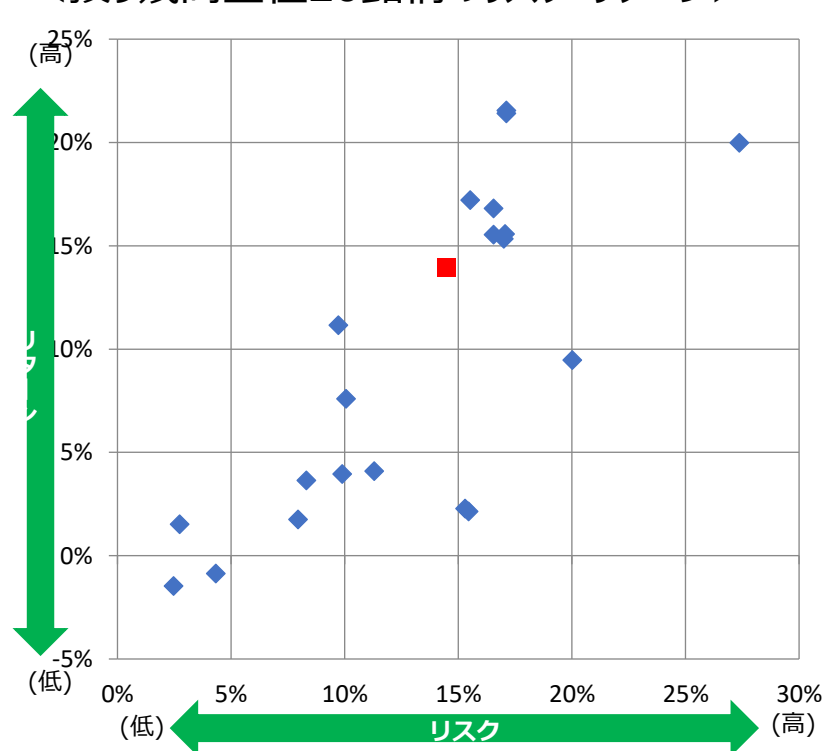
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.02%、平均リスク14.50%に対して、平均リターンは13.96%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



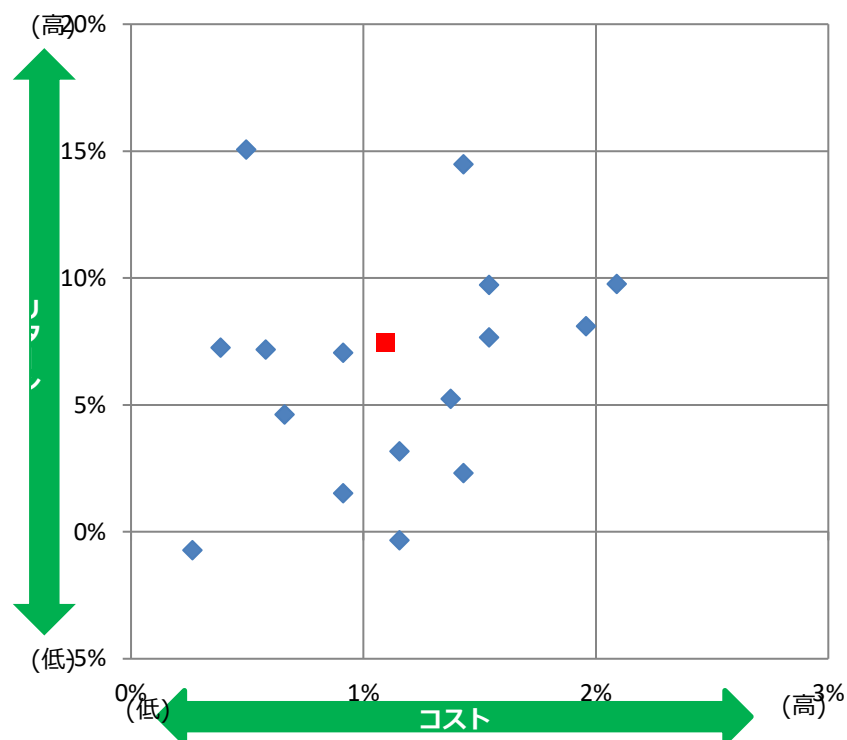
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

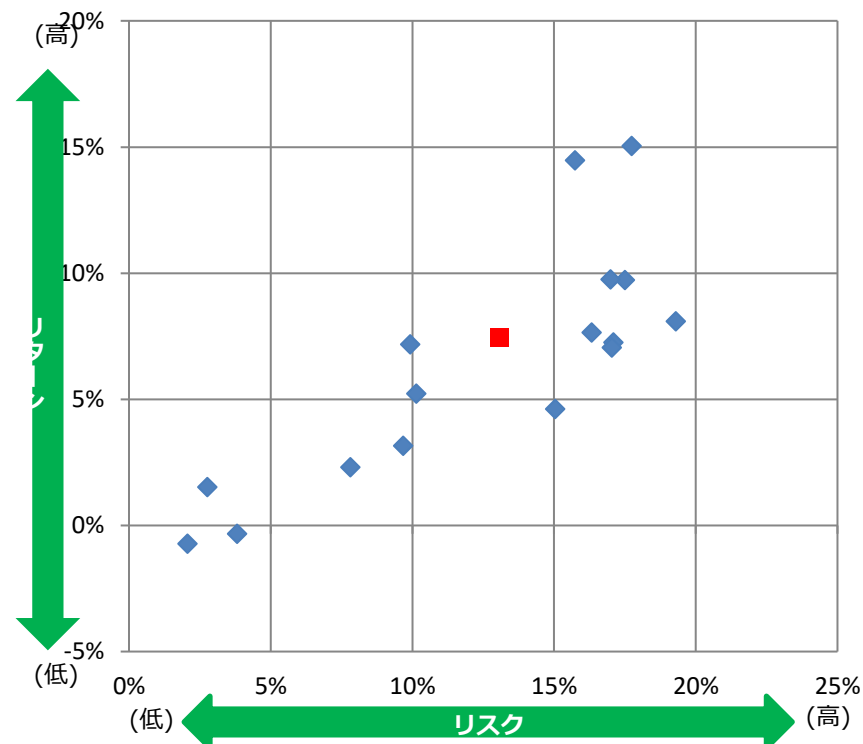
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク13.09%に対して、平均リターンは7.43%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



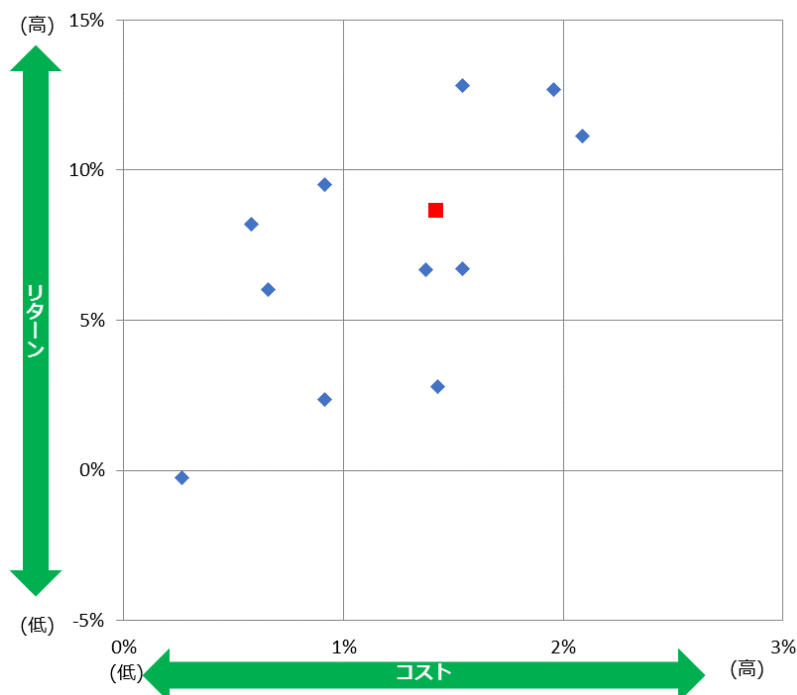
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

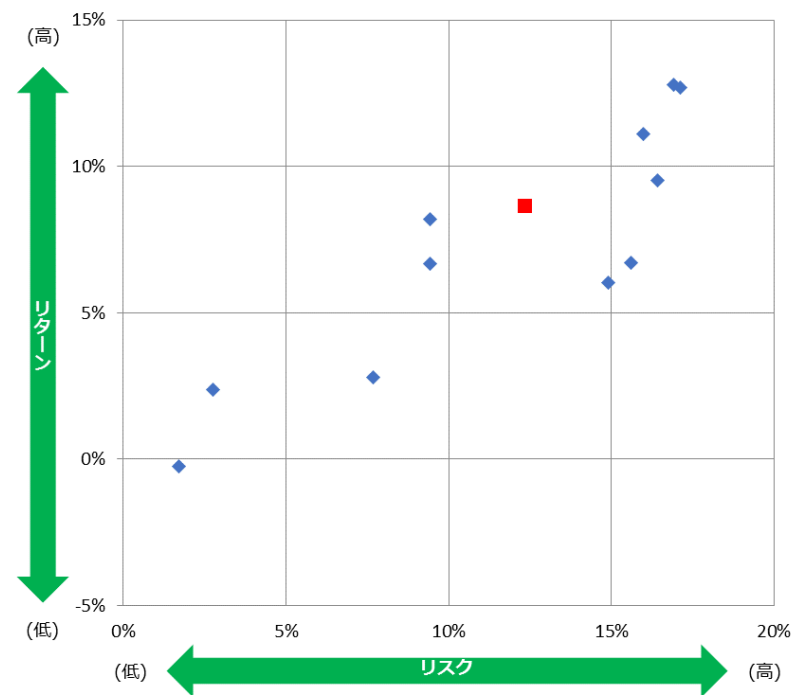
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.42%、平均リスク12.35%に対して、平均リターンは8.65%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて N I S A 米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
4	日米6資産分散ファンド [®] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	つみたて N I S A 日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
7	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
8	日米6資産分散ファンド [®] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
9	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
10	ダイワ・グローバル R E I T ・ オープン	大和アセットマネジメント (株)	9.47%	20.01%	1.96%
11	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
12	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
13	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.47%	2.46%	0.26%
14	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
15	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	7.59%	10.06%	1.38%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.73%	0.91%
17	D I A M ハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	3.64%	8.31%	1.43%
18	J - R E I T インデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.28%	15.30%	0.66%
19	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	16.82%	16.55%	2.09%
20	J - R E I T インデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.14%	15.44%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.96%	14.50%	1.02%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
4	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
9	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
10	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
11	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
12	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
13	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
14	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
15	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
16	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.43%	13.09%	1.10%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
4	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
5	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
6	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
7	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.02%	14.90%	0.66%
8	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
9	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
11	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.65%	12.35%	1.42%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。